

# 令和4年度 未来の教室事業実践報告

今年度、経済産業省の「未来の教室」実証事業として、春日小学校及び天神山小学校をモデル校に選定し、学校の業務改善に取り組んでいます。先生の幸せ研究所のコンサルティングのもと、教育委員会職員が伴走者となり、モデル校支援を通して必要なノウハウを身につけるとともに、学校の主体的・対話的な業務改善を後押しすることを目的に進めてきました。具体的には、伴走者が学校の推進者とともに校内研修の計画を立てたり、課題に対する改善案を検討したりして、連絡を取り合いながら業務改善に取り組みました。

8月から取り組んできた各学校の実践内容について報告します。

## 春日小学校

学校の推進者：主幹教諭

教育委員会の伴走者：地域教育課職員2名

【目標】 教員一人ひとりが働き方改革の当事者であるという認識を持ち、取組を進めていく

### ●第1回校内研修（10月13日）

全教職員を対象として、事前に学年主任研の中で出た意見を参考に、課題と改善案を自助・共助・公助に分けて考えた。現在の働き方改革を見直し、改善できそうなことを、教育委員会・管理職・学年・個人に分けて見直した。

↓校内研修で出た問題点や改善案

<b>教育委員会</b> 給食指導・清掃の人材、保護者クレーム対応、オンライン授業、ペーパーレス、成績表の簡素化 など	<b>管理職</b> 校務分掌の見直し、担外教員の配置、集団下校の見直し、連絡会等会議の精選、配布物やアンケートの精選 など
<b>学年</b> 知のオリンピックの見直し、春日っこノートの見直し など	<b>個人</b> 家庭学習の点検、能力アップ



### ●第2回校内研修（12月13日）



働き方改革に対する当事者意識を高めることに焦点をあて、校内研修を実施した。

学校全体として、次年度に向けて「わくわく感を醸成」するために、個人で何ができるかをテーマにワークショップ形式で意見を共有した。ワークショップの中では、①校務分掌を見直し、協力して事務分担任する（業務の偏りに対する対応）、②個人が見通し（計画）を立てて業務に臨む、③ICTを活用した事務の効率化、④業務マニュアルの作成と共有化

など、個人の取組について案が出された。また、先生の幸せ研究所の講師から助言を受け、「何のために働き方改革を実施するのか」考えを深めることができた。

### 具体的な取組

#### ①毎週水曜日放課後の個人作業時間確保

現状：午後3時15分までの授業時間で、研修等を行った後に学級事務が始まるので、退勤時間が遅くなる傾向があった。

改善内容：研修等を入れないようにし、学級事務の時間を確保できるようにした。

成果：今までは30分程度しか確保できなかった学級事務が、2時間近く確保でき、年休の取得率も上がってきている。

#### ②提案書類等のペーパーレス化

現状：様々な提案物を紙媒体で説明するため、膨大な用紙を使用し、その処理と整理に時間を要していた。

改善内容：Googleを利用し、ストリーム（※）で提案を行うようにした。

成果：いつでも必要な時に閲覧することができ、紛失して探したり、もう一度準備したりすることがなくなった。

※ ストリームとは、Googleドライブにアクセスすることなく必要なファイルを参照できるもの。

## 天神山小学校

学校の推進者：主幹教諭、教員2名

教育委員会の伴走者：教務課職員2名

【目標】 働きがいがあり、かつ、働きやすい天小

#### ●第1回校内研修（9月2日）

全職員を対象として、「働き方の課題」と「課題解決のために、今すぐにも取り組めること」についてグループワークを行った。教員一人ひとりの働き方に対する考えを共有し、本音を出し合うことができた。

#### 校内研修で出た課題

- ・人手不足
- ・昼休みの確保
- ・出席簿等のデジタル化
- ・テストやプリントの丸付け
- ・登校班のトラブル対応 など



#### ●職員室内にアイデア掲示板を設置（10月14日）

日々の業務の中で疑問に感じていることや改善が見込まれること等を付箋に書き出し、職員室に掲示する模造紙に自由に貼り付けることにした。

#### ●プロジェクトチームの立ち上げ（11月4日）

第1回校内研修で出た意見を受け、トップダウンからボトムアップ型にするため、①校務分掌について、②その他の業務改善についての2つのプロジェクトチームを立ち上げた。その他の課題について

も、ICT 活用推進委員会などの既存の組織を活用して業務改善に取り組むこととした。

校務分掌とより良い  
情報共有 PT

その他業務改善 PT  
(印刷、丸付け等)

集団登校班

ICT 活用推進委員会

研修 (研究推進委員)

### ●第2回校内研修 (11月22日)

文科省の働き方改革事例集を見ながら、天神山小で取り組めそうなもの考えるグループワークを行った。第1回校内研修の時より、具体的な取組案が多く出された。先生の幸せ研究所の講師から業務改善の先進事例等を聞き、できることから取り組んでいくことを、あらためて意識づけられた。



### 具体的な取組

#### ①配付プリントの精選

現状：児童への配付文書が多く、必ず返事が必要な文書が分かりにくかった。

改善内容：校内統一で、全員の返信が必要な文書は黄色の紙、対象者だけ返信が必要な文書はピンクの紙で配付することにした。

成果：小さな変更だが、校内で統一したので教員も分かりやすくなった。

#### ②教室掲示物のコメント

現状：教室掲示の児童の作品に、教師の評価コメントを書いていたが、時間がかかり負担となっていた。また、書いていない学年があることも分かり、校内で統一されていなかった。

改善内容：学年で話し合い、コメントは書かずにスタンプやシール等で評価することにした。

成果：校内統一ルールとなり、教員の負担軽減につながった。